

調査結果の要約

I. コミュニティ誌「ふれあい東大阪」について

●コミュニティ誌「ふれあい東大阪」の認知度は、「知っている」が6割弱（問7）

コミュニティ誌「ふれあい東大阪」を「知っている」のは全体の56.8%で、「知らない」が40.4%であった。

●コミュニティ誌「ふれあい東大阪」の閲読率は、「時々読む」が6割弱（問7-1）

コミュニティ誌「ふれあい東大阪」の閲読率は、「時々読む」が58.4%で最も高く、次いで、「よく読む」が23.7%、「知っているが、読まない」が13.6%、「以前読んでいたが、読まなくなった」が3.5%となっている。

●コミュニティ誌「ふれあい東大阪」で楽しみにしているコーナーは、「特にない」が3割強、「がんばる東大阪の企業」が3割弱（問8 【複数回答】）

コミュニティ誌「ふれあい東大阪」で楽しみにしているコーナーは、「特にない」が31.7%で最も高く、次いで、「がんばる東大阪の企業」が29.4%、以下、「東大阪市の地名シリーズ しってまっか?」が28.6%、「東大阪スイーツ」が24.7%の順となっている。

Ⅱ. ゴミの排出について

●古紙類の排出方法は、「集団回収（廃品回収）に出している」が6割強（問9）

古紙類の排出方法をみると、「集団回収（廃品回収）に出している」が61.8%で最も高く、次いで、「家庭ごみ（もえる物）として出している」が23.9%となっている。

●集団回収の認知・利用状況は、「知っており、利用している」が6割弱（問10）

集団回収の認知度・利用度をみると、「知っており、利用している」が59.9%で最も高く、次いで、「知っているが、利用していない」が19.1%、「知らない」が16.0%となっている。

●集団回収を利用していない理由は、「排出日時や場所、品目がわからない」が約4割（問10-1 【複数回答】）

集団回収を利用していない理由は、「排出日時や場所、品目がわからない」が40.3%で最も高く、次いで、「回収頻度が少ないため、日程が合わない」が29.9%となっている。

●古紙類の回収拠点を設置してほしい場所は、「特にない」が4割強（問11 【複数回答】）

古紙類の回収拠点を設置してほしい場所は、「特にない」が42.6%で最も高く、次いで、「スーパーマーケット（食品スーパーなど）」が32.5%、「コンビニエンスストア」が25.9%となっている。

●排出環境の充実を図るべき品目は、「ボタン電池や充電式の電池」が6割弱（問12 【複数回答】）

排出環境の充実を図るべき品目は、「ボタン電池や充電式の電池」が57.2%で最も高く、次いで、「食用油」が26.9%、「食器類」が24.8%となっている。

Ⅲ. 東大阪の「みどり」について

● “みどり”の多さに満足している場所は、「生駒山の森林の“みどり”」が5割強（問13-1 【複数回答】）

“みどり”の多さに満足している場所は、「生駒山の森林の“みどり”」が53.3%で最も高く、次いで「公園の“みどり”」が40.2%、「神社・寺の“みどり”」が35.4%となっている。

● “みどり”の多さに満足していない場所は、「道路の“みどり”（街路樹）」が5割弱（問13-2 【複数回答】）

“みどり”の多さに満足していない場所は、「道路の“みどり”（街路樹）」が47.7%で最も高く、次いで、「学校の“みどり”」が28.1%、「工場・事業所の“みどり”」が26.6%、「公園の“みどり”」が23.5%となっている。

● “みどり”の美しさに満足している場所は、「生駒山の森林の“みどり”」が4割半（問13-3 【複数回答】）

“みどり”の美しさに満足している場所は、「生駒山の森林の“みどり”」が44.8%で最も高く、次いで「公園の“みどり”」が27.4%、「神社・寺の“みどり”」が24.1%となっている。

● “みどり”の美しさに満足していない場所は、「道路の“みどり”（街路樹）」が4割強（問13-4 【複数回答】）

“みどり”の美しさに満足していない場所は、「道路の“みどり”（街路樹）」が44.4%で最も高く、次いで、「公園の“みどり”」が24.7%、「工場・事業所の“みどり”」が24.2%、「学校の“みどり”」が22.8%となっている。

● 東大阪市の“みどり”の満足度は、「満足している」計が3割弱、「不満がある」計が4割半（問14）

東大阪市の“みどり”の満足度をみると、「やや不満がある」が33.8%で最も高く、次いで「ある程度満足している」が27.1%となっている。「満足している」計は28.8%であるのに対し、「不満がある」計は45.4%で、「満足している」計より16.6ポイント高くなっている。

● “みどり”を増やすために力を入れたらよいと思う施策は、「街路樹等、現在あるみどりを適切に管理、保存する」が4割強（問15 【複数回答】）

“みどり”を増やすために力を入れたらよいと思う施策は、「街路樹等、現在あるみどりを適切に管理、保存する」が44.1%で最も高く、次いで、「公共施設の緑化を推進する」が34.5%、「学校等における子どもたちを対象とした緑化教育を行う」が34.0%となっている。

● “みどり”が増えてほしい場所は、「道路（街路樹）の“みどり”」が約6割（問16 【複数回答】）

“みどり”が増えてほしい場所は、「道路（街路樹）の“みどり”」が60.2%で最も高く、次いで「公園の“みどり”」が45.5%、「学校の“みどり”」が41.8%となっている。

● “みどり”の満足度を上げるために参加したい取組みは、「自主的に苗木や花の購入やあっせんを受けて、植える等の緑化活動をする」が3割強（問17 【複数回答】）

“みどり”の満足度を上げるために参加したい取組みは、「自主的に苗木や花を購入したり、あっせんを受けたりして、それを植えるなどの緑化活動」が32.5%で最も高く、次いで、「地域や職場において、花壇づくり、植樹、プランター設置などの緑化活動を実践する」が19.3%、「市民参加型の緑化活動にボランティアとして参加する」が14.6%などの順となっている。

IV. 食育について

●「食育」への関心は、「関心がある」計で7割強（問18）

「食育」への関心は、「どちらかといえば関心がある」が36.7%で最も高く、次いで、「関心がある」が35.8%となっており、合計72.5%の人が関心を持っている。

●朝食は、「毎日食べている」が8割強（問19）

朝食は、「毎日食べている」が82.8%で最も高く、次いで「ほとんど食べない」が7.6%、「週に4～5回食べている」が5.6%となっている。

●朝食の内容は、「主食のみ」が4割弱（問19-1）

朝食の内容をみると、「主食のみ」が39.5%で最も高く、次いで、「主食と主菜と副菜」が27.8%、「主食と主菜」が22.0%となっている。

●主食・主菜・副菜を揃えて1日2食以上食べる頻度は、「ほとんど毎日」が5割強（問20）

主食・主菜・副菜を揃えて1日2食以上食べる頻度は、「ほとんど毎日」が53.1%で最も高く、次いで「週に4～5日」が19.1%、「週に2～3日」が18.9%、「週に1日以下」が7.5%となっている。

●野菜を食べる頻度は、「1日2食、野菜を食べている」が4割半（問21）

野菜を食べる頻度は、「1日2食、野菜を食べている」が46.0%で最も高く、次いで、「ほとんど毎食野菜を食べている」が29.2%、「1日1食、またはほとんど野菜を食べない」が23.6%となっている。

●本人が適正だと思う体重と計算上の適正体重を比較すると、適正体重より1～4kg軽く答えた人が3割半（問22）

本人が適正だと思う体重と計算上の適正体重を比較すると、「乖離なし」が19.6%で最も高く、計算上の適正体重より軽い体重を答えた人が52.5%、重い体重を答えた人が22.5%となっている。特に、計算上の適正体重より1～4kg軽く答えた人が多く、全体の35.2%を占める。

●メタボリックシンドロームの予防・改善行動については、「時々気をつけているが、継続的ではない」が4割強（問23）

メタボリックシンドロームの予防・改善行動については、「時々気をつけているが、継続的ではない」という人が42.0%で最も高く、次いで「実践して半年以上である」という人が28.5%である。

●栄養成分表示の注視度は、「時々参考にする」が4割強（問24）

栄養成分表示の注視度は、「ときどき参考にする」が42.0%で最も高く、次いで「ほとんど参考にしない」が38.5%となっている。「いつも参考にする」は15.5%である。

V. 救急安心センターについて

●「救急安心センターおおさか」の認知度は、「知らない」が6割弱（問25）

「救急安心センターおおさか」を「知っている」のは全体の40.4%で、「知らない」の57.5%より17.1ポイント低くなっている。

●「救急安心センターおおさか」の利用方法については、「救急車を利用していいのか迷う時」が5割弱（問25-1 【複数回答】）

「救急安心センターおおさか」の利用方法については、「救急車を利用していいのか迷う時」が46.2%で最も高く、次いで「どこの病院へいけばよいかわからない時」が39.0%となっている。「どのような時に利用するのか、わからなかった」という人は8.2%と1割に満たない。

●「救急安心センターおおさか」の認知経路は、「東大阪市の広報紙（市政だより等）を通じて」が6割強（問25-2 【複数回答】）

「救急安心センターおおさか」の認知経路は、「東大阪市の広報紙（市政だより等）を通じて」が61.7%で最も高く、次いで、「救急に関するポスター、パンフレット等を通じて」が31.2%となっている。

●「救急安心センターおおさか」の利用経験は3割弱、利用場面は「どこの病院へ行けばよいかわからない時」が5割弱（問25-3 【複数回答】）

「救急安心センターおおさか」の利用経験は27.8%であった。利用場面は、「どこの病院へ行けばよいかわからない時」が13.6%で最も高くなっている。

●「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応は、「病院を調べて自分で病院へ行っていた」が5割弱（問25-4 【複数回答】）

「救急安心センターおおさか」がなかったときの対応は、「病院を調べて自分で病院へ行っていた」が49.7%で最も高く、次いで「119番通報し救急車を呼んでいた」が33.1%、「家族、友人、知人に助けを求めた」が22.1%となっている。

VI. 老人センターについて

●「老人センター」の認知は、「知らない」が6割半（問26）

「老人センター」を「知っている」のは29.0%で、3分の2近い65.4%が「知らない」となっている。

●「老人センター」の利用経験は、「利用したことがない」が8割半（問26-1）

60歳以上で「老人センター」を知っている人の「老人センター」利用経験率は12.5%で、86.0%が「利用したことがない」となっている。

●「老人センター」を利用していない理由は、「ひとりで行きにくいから」が3割弱（問26-2 【複数回答】）

「老人センター」を利用していない理由は、「ひとりで行きにくいから」が27.6%で最も高く、次いで「どんなことができるのかわからないから」が22.6%、「利用するのに抵抗感があるから」が18.6%、「どこにあるのかわからないから」が18.1%の順となっている。

●「老人センター」の催しで参加したいものは、「健康・医療に関する催し」が5割強（問27 【複数回答】）

「老人センター」の催しで参加したいものは、「健康・医療に関する催し」が53.4%で最も高く、次いで、「学術、文化、芸術またはスポーツに関する催し」が37.9%、「福祉や介護に関する催し」が33.6%である。

●ボランティア活動への興味は、「興味がある」計が3割弱、「興味がない」計が4割強（問28）

ボランティア活動への興味は、「あまり興味がない」は33.2%で最も高く、次いで「やや興味がある」が25.9%となっている。「興味がある」計は29.3%であるのに対し、「興味がない」計は42.6%と、「興味がある」計より13.3ポイント高くなっている。

●参加してみたいボランティア活動は、「子どもの健全育成を図る活動」が4割弱（問28-1 【複数回答】）

参加してみたいボランティア活動は、「子どもの健全育成を図る活動」が36.5%で最も高く、以下、「地域安全活動」（27.0%）、「学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動」（26.1%）、「環境の保全を図る活動（地域清掃などを含む）」（24.6%）、「災害救援活動（訓練を含む）」（23.7%）、「保健、医療または福祉の増進を図る活動」（22.3%）が僅差で続いている。

●ひとり暮らしの高齢者への声かけボランティアへの参加意向は、「できれば参加したいと思う」が5割弱、「参加したいと思う」計は5割強（問29）

「できれば参加したいと思う」が46.5%で最も高く、「ぜひ参加したいと思う」の4.6%と合わせた「参加したいと思う」計は51.1%である。一方で、「参加したいと思わない」は40.7%と、「できれば参加したいと思う」に次いで高くなっている。

VII. 図書館について

●市立図書館の利用は、「市立図書館はほとんど利用しない」が6割強（問30 【複数回答】）

市立図書館については、「市立図書館はほとんど利用しない」が63.4%と3分の2近くを占めている。利用図書館は、「花園図書館」が12.2%で最も高く、次いで「永和図書館」が6.7%、「旭町図書館」が6.1%となっている。

●図書館の利用目的は、「本、雑誌、CDなどの貸し出し」が7割弱（問30-1 【複数回答】）

図書館の利用目的は、「本、雑誌、CDなどの貸し出し」が最も多く69.0%である。次いで「本、雑誌、新聞などの館内閲覧」が34.0%、「調査、研究などのための情報収集」が10.3%となっている。

●資料を充実してほしい分野は、「小説」が約3割（問30-2 【複数回答】）

資料を充実してほしい分野は、「小説」（30.3%）が最も高く、以下、「絵本、児童書」「CD、ビデオ」（23.8%）、「新聞、雑誌」（17.0%）、「歴史、地理」（15.2%）の順に上位である。

●市立図書館を利用しない理由は、「利用する必要がある」が3割半（問31）

市立図書館を利用しない理由は、「利用する必要がある」が35.6%で最も高く、次いで「近くに図書館がない」が25.1%となっている。

●図書館の施設数については、「今のままで良い」が7割弱（問32）

図書館の施設数については、「今のままで良い」が68.5%で最も高く、次いで「もっと必要である」が12.4%である。

●市内に必要な図書館施設数は、「3館」が2割強（問32-1 実数回答）

市内に必要な図書館施設数は、「3館」との回答が24.4%で最も多く、平均は3.76館であった。